



2021 年 12 月 13 日

武蔵野銀行との「TSUBASAキャッシュレス加盟店サービス」に係る 提携の開始について

～TSUBASAキャッシュレス決済プラットフォームの活用～

千葉銀行（頭取 米本 努）と武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2022 年 1 月 24 日（月）より、TSUBASAキャッシュレス決済プラットフォームを活用した「TSUBASAキャッシュレス加盟店サービス」に係る提携を開始します。

当行は、2019 年 10 月より、地域におけるキャッシュレス決済の促進のため「TSUBASAキャッシュレス決済プラットフォーム」を構築し、事業者の皆さまのキャッシュレス決済を総合的にサポートする「TSUBASAちばぎんキャッシュレス加盟店サービス」を提供しており、現在約 8 千の加盟店さまに国内外の主要な決済（クレジットカード、デビットカード、電子マネー等）に 1 台で対応可能なマルチ決済端末をご利用いただいています。

今回の提携により、キャッシュレス加盟店サービスに関するシステムおよび事務センターを共同利用することでコストの抑制につなげるとともに、今後、両行の知見やノウハウの共有を図ることで、TSUBASAキャッシュレス決済プラットフォームの早期拡大を目指してまいります。

当行は、今後も地域のお客さまの利便性向上や地域社会のさらなる発展のために、最新の金融サービスの提供に努めてまいります。

※千葉銀行、第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行、武蔵野銀行、滋賀銀行、琉球銀行、群馬銀行の 10 行が参加する地銀広域連携の枠組み。

以 上